

教育研究データ			
1. 氏名	杉山浩之		
2. 生年月	1959.1.7		
3. 取得学位	教育学修士		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2015年	「教育制度学」において、学校内外の教育問題についてのグループ調査研究および発表討議の学修を事前事後学修及び授業において位置づけ、アクティブラーニングを実施した。学生は、教育実習や教育ボランティアなどの経験を踏まえ、ICTを活用して、問題設定から調査・解決までの過程を発表セッションに整理し、教員からのコメントによって一層深い学びをすることが出来た。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2017年11月 2019年	講演「森と自然を活用した行政施策の現状と展望」(自治体勉強会、国立オリンピック記念青少年総合センター)	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
① 教育よ、こどもと自然に還ろう	単著	2007.4	三学出版
② 教育経営学の視点から教師・組織・地域・実践を考える	共著	2009.3	北大路書房
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
① 「北欧における幼児の環境教育 I～スウェーデン王国(ストックホルム市)での視察を通して～」	共著	2019.3	広島文教教育、第33巻、pp17～23
② 「北欧における幼児の環境教育 II～ノルウェー王国(ストード	共著	2019.3	広島文教教育、第33巻、pp25～30

市)での視察を通して～」			
③ 子どもの虫に関する興味関心や知識の実態	共著	2019.3	広島文教教育、第33巻、pp31～34
④ 乳幼児期の環境教育の研究	単著	2018.2	広島文教教育、第32巻、P11～30
⑤ 環境教育におけるカリキュラム・マネジメントの考察	共著	2017.3	広島文教教育、第31巻、P41～50
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
① 北欧における幼児の環境教育の実際と課題	2018.10		日本自然保育学会第3回大会 (東京都、国立オリンピック記念青少年総合センター)
② 森と自然を活用した保育・幼児教育の最新情勢	2018.1		林野庁近畿中国森林管理局における自治体勉強会 (大阪)
(4) 所属学会			
① 日本自然保育学会 (2015～)			
② 日本環境教育学会 (2015～)			
③ 日本保育学会 (2008～)			
④			
⑤			